

教育委員会 12 月定例会会議録

1 日 時 令和 3 年 12 月 15 日 (水) 午後 1 時 30 分開会

2 場 所 三島市役所中央町別館 4 階 第 1 会議室

3 出席者

(委 員) 西島教育長、安藤委員、草間委員、飯島委員

(事務局) 鈴木教育推進部長、渡辺学習環境整備統括官、杉山教育総務課長、鈴木学校教育課長、
若林生涯学習課長、米山図書館長、芦川文化財課長

(書 記) 高梨教育総務課総務係長、大角教育総務課主査

4 傍聴人の人数 2 人

5 会議次第

(1) 開会

(2) 前回会議録の承認

(3) 会議録署名人の決定

(4) 各課の事業報告 (経過・予定の報告)

(5) 教育長の報告

(6) 教育推進部長の報告

(7) 議第 51 号 三島市社会教育委員の委嘱について

(8) その他

(9) 閉会

6 議 事 (要旨)

(1) 開会 西島教育長が宣言した。

(2) 前回会議録の承認 前回会議録を承認した。

(3) 会議録署名人の決定 西島教育長が安藤委員と飯島委員を指名した。

(4) 各課の事業報告 (経過・予定の報告)

各課長が経過報告書及び予定報告書により報告を行った。

(5) 教育長の報告

・小中学校の冬季休業は 12 月 25 日から 1 月 4 日となっている。昨年の 12 月定例会は新型コロナ

ウイルスの第3波の真ただ中であり、予断を許さない状況であるとの報告をした。今年の状況は、オミクロン株の動向が気にかかるころではあるが、現在は、三島市、近隣市町も落ち着いた状況である。

- ・振り返ると、昨年に引き続き、規制されることの多い学校生活とはなったものの、そのような中においても子どもたちは、自らの成長にとってかけがえのない時間を過ごせたのではないかと思う。このことは、各学校がほぼ毎日発信しているブログ、指定研究、学校を取材した様々な新聞報道からも確かな手ごたえとして伝わってくる。内なる成長のエネルギーを开花させた子どもたちを頼もしく思う。
- ・このような子どもたちの成長は校長をはじめ、教職員、全ての学校関係者の努力の賜物だと思う。チーム学校として制限された中で様々な工夫をした指導の成果だと思う。
- ・その一方で、友達との距離にも注意をして with コロナの生活を続けてきた子どもたちの内心を推し量ってみると、本人も気づかないうちに先を見通せない不安や焦燥感、様々な感情が積み重なって、不登校や思わぬ行動の要因となっていないか大変気がかりである。
- ・市教委としては、常に学校と情報を共有し、家庭・地域・外部機関と更に連携したチーム力で、子どもの変化を迅速にとらえ、守り支えていくことに取り組んでいきたい。
- ・GIGA スクールの進捗状況については、市全体の職員の活用状況をまとめた報告書により説明した。
- ・今年度は GIGA スクール元年として、“とにかく使う”ということを重視して各校長にもお願いをしてきた。今後は、その教科の目的に合った活用、もう少し掘り下げた活用が必要だと考えている。
- ・今後の課題としては、端末活用に苦手意識を持っている教員は当然いるので、誰一人取り残さないために、とにかく効果的なサポートを行っていく。また、学校間格差をどのように埋めていくかを工夫することが教育委員会の役目だと考えている。
- ・市議会 11 月定例会では、中学校へ特別支援学級の開設、令和 5 年度以降段階的に土日の部活動を地域へ移行することについて、オーガニック給食の提案、教職員の健康診断、コロナやワクチン非接種者への誹謗中傷防止について、などの質問をいただいた。

(6) 教育推進部長の報告

ア 関連事業等の報告について

(ア) 学校施設等の入札結果について

- ・三島市小中学校オーゾメータ定期校正業務
受注者：リオンテック㈱
- ・三島市立小中学校産業廃棄物の収集、運搬及び処分業務委託
受注者：日本産廃㈱

(イ) 市議会 11 月定例会

- ・一般会計補正予算案 全件可決
- ・一般質問
甲斐 幸博 議員

○大河ドラマ「鎌倉殿の13人」について

佐藤 寛文 議員

○ポストコロナの市民協働について～子ども会活動の現状認識と今後について～

○子ども会活動の今後について

大石 一太郎 議員

○福祉対策3テーマについて・・・少子化対策と障害児教育支援について

佐野 淳祥 議員

○部活動改革に向けての国の方針について

○部活動改革に向けての三島市の計画と方針について

沈 久美 議員

○学校給食における地元有機野菜の使用状況

○学校給食にオーガニックを取り入れる際の課題

岡田 美喜子 議員

○教職員の健康管理

○定期健康診断に便潜血検査・前立腺特異抗原検査・クレアチニン・ヘモグロビンA1cなどの健診項目を加えることはできないか

○女性特有の病を見逃さないために、乳がん検診や子宮頸がん検診を学校において一括して申し込むことなどの仕組みづくりができないか

○保健室サポート員の配置について

土屋 利絵 議員

○今後のコロナワクチン接種体制について～感染した方と、ワクチンを打たない方へのフォロー、接種を強制しないこと等について～

(ウ) 令和3年度三島市総合防災訓練

突発的な大地震による大規模な災害が発生したことを想定し、防災関係機関及び自主防災会との連携を一層強化するとともに、市民の防災に関する意識・技能の向上を図るため、三島市総合防災訓練を実施された。

(エ) バリアフリー教室 in 北小

市では、三島市移動等円滑化基本構想の基本方針の一つである「心のバリアフリーの推進」を目的に、毎年、市内の小学生を対象にした「バリアフリー教室」を開催している。障害のある人への理解を深めることで、誰もが障がい者等に対してごく自然にサポートできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指すもの。

(オ) 学校図書購入のための寄付について

12月10日(金)、大村ご夫妻から学校図書購入のため、50万円のご寄付をいただいた。大村様は、父 登 様のご遺志を継ぎ、平成15年から毎年寄付を続けてくださっている。(登様の分を含め総額4,750万円) ご夫妻からの寄付金で購入した学校図書は、昨年までで11,894冊。今年は、中学校費の図書として分配する。

イ 主な事業等の予定について

(ア) 年末の交通安全県民運動

2月15日(水)から31日(金)までの17日間、年末の交通安全運動が「安全をつなげて広げて 事故ゼロへ」をスローガンに展開する。

(イ) 飲酒運転撲滅・ピカッと作戦 !

日 時：12月17日(金) 17時30分～18時30分

内 容：三島警察署、交通安全指導員、市職員が本町や三島広小路駅周辺の飲食店を訪れて、店内への飲酒運転撲滅のポスター掲示や歩行者へ反射材の着用呼びかけてもらうよう依頼。

(7) 議第51号 三島市社会教育委員の委嘱について

生涯学習課長から三島市社会教育委員の委嘱について、15名に委嘱したい旨の説明があった。

※原案承認

(8) その他

(安藤委員)

前回、草間委員が質問されたヤングケアラーの問題について回答をいただいたところである。ヤングケアラーや自殺、孤立化など、若者を取り巻く問題は多様化、複雑化していると思うが、どのような相談体制があるか教えていただきたい。

(鈴木学校教育課長)

配付されたタブレット端末を使って、IDを入力すると「心の相談」というフォーマットへアクセスでき、各学校の代表メールに相談内容が届く仕組みを構築した。アンケートだと定期的にしか行われませんが、メールであれば随時相談内容を拾い上げることができる。また、学校以外にも相談したい場合は、三島市いじめ相談室や24時間子ども SOSダイヤルなど11カ所の相談窓口の連絡先が端末を使えば分かるような仕組みを作っている。

(若林生涯学習課長)

三島市青少年相談室では、令和元年度の面接相談が1,266件あったが、令和2年度は2,034件に増えている。これまでは電話と面接相談であったが、今年度はQRコードを配付し、端末を使って読み込むとメールで相談できるシステムを構築したところである。

(安藤委員)

相談窓口が非常に増えていることがわかった。端末を使ってメールで直接相談できる仕組みも素晴らしい。

(西島教育長)

このようなシステムをさらに充実させていくことも重要だと考えているが、一方で身近な人と人間関係を築いて気軽に相談できるような学校風土の醸成なども大事だと思う。

次回日程について

(高梨教育総務課総務係長)

回りの1月定例会は、1月14日(金)の午後1時30分から中央町別館4階第1会議室にて開催ということで予定させていただきたい。

(9) 閉会 午後2時25分

上記のとおり会議録を承認する。

令和4年1月14日

署名人

安藤 宏通

署名人

飯島 映